

もりきよ まさし
森清 将史さん

JICA 海外協力隊 2017 年度 1 次隊

派遣国：ブラジル 職種：野球

2022 年 8 月 21 日（日）中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています



野球通じ 地域に活力を

2017 年 7 月、ブラジルのサンパウロ州ミランドポリス市に赴任し、子どもたちに野球指導をした。一般的にサッカーのイメージが強いブラジルだが、実は野球の歴史は深い。1908 年以降、多くの日本人がブラジルへ移民として渡った背景があり、昔から日系人を中心に多くの人が野球に親しんでいた。

しかし、赴任時、その町に野球チームはなかった。日本でも近年、野球人口の減少が危惧されているが、ブラジルの日系人の間でも深刻な状況だった。

関係者と連携しながらチームを復活させ、運営をすることはできた。だが、活動を通じ、「昔ながらの日本式の指導」が日本とブラジルに共通する野球離れの原因だと感じた。特に長時間練習や厳しい指導が弊害となることが多い。

一方で私自身、日本式の野球を経験して育ち、帰国後は小学校の教員として 2 年間働いた。日本の教育の良い点もたくさんあることは承知している。日系ブラジル人の中にも「日本式の教育」を大切にしてきたことで、それぞれの道で成功を納めた方々は多い。

私は現在、瀬戸内市内の地域おこし協力隊として、スポーツを通じた地域活性化を目指し活動している。スポーツを通じて学び、成長し、人の役に立つ人が増えてほしい。

瀬戸内市で「瀬戸内ブルーシャインズ」という社会人女子野球チーム発足準備にも携わっている。23 年 4 月の本格始動を目指している。女子野球は近年、急速に競技人口が増え、盛り上がりを見せている。自分の経験を還元し、スポーツに親しむ人を増やしたい。そして地域を活性化し、瀬戸内市から日本を盛り上げていきたい。



ブラジルの赴任先でチームを結成し、大会に出場したメンバー。後列右端が筆者